



神奈川県
2024年9月号
月間「不屈」
No.603付録
編集兼発行人
小澤 睦夫

治安維持法犠牲者 国家賠償要求同盟

神奈川県本部

〒221-0823

神奈川県横浜市神奈川区二つ谷町2-9

TEL/FAX 045-314-1766

E-mail chian.kanagawa@spice.ocn.ne.jp

第42回県本部総会の成功を力に 国会請願署名、同盟員拡大に総力を

裏金問題に責任を取ろうとしない自民党と岸田首相の態度に国民の怒りは頂点に達し、内閣支持率は20%台を切るレベルで推移、政権交代を望む声が50%を超えるところまでになっていました。

8月14日、ついに岸田首相が「9月の自民党総裁選挙に立候補しない」と事実上の退陣声明をしました。「自分が身を引くこと」が政治不信にけじめをつけ、信頼回復を図ると述べましたが、「首相が代わっても政治と金はとことん追求する」「首相が代わっても自民党政治は変わらない」と世論調査は手厳しいものです。

岸田首相は、総裁選を期に改憲案を持ち出し、一大キャンペーンをはじめていきます。9条に自衛隊を明記する。「9条はそのままなのだから自衛隊を明記してもいいのではないか」という声を厳しく退ける大キャンペーンが重要です。

「敵基地攻撃能力の保有」「南西諸島へのミサイル配備」「憲法違反の軍拡路線」と憲法9条を踏みこむ「戦争する国づくり」を推し進めてきた自民党岸田政権ですが、憲法9条の戦力不保持、戦争放棄」が大きな縛りになってきました。そこで持ち出してきたのが「国民は自衛隊に親しみを抱いている」「災害時に活躍している自衛隊を憲法違反

というのはおかしい」と「9条に自衛隊明記」という改憲案を強行しようとしています。絶対に許すことはできません。

国賠同盟神奈川県本部定期総会は9月14日開催され、新しい体制、方針のもとに新たな意気込みで前進を開始します。

10月14日～15日 関東ブロック交流集会在開催されます。全支部から積極的に参加し、経験を持ち寄り、学び、県同盟の大きな前進の契機にしようではありませんか。

11月10日～11日には全国女性交流集会在開催されます。各支部から積極的に代表を派遣して全国の経験に学び交流を進めていきましょう。

来年は、治安維持法が制定されて100年目を迎えます。国賠同盟中央本部をはじめ全国の同盟は2万の組織を目指して全力を挙げていきます。

私たちも全国に呼応して、県同盟建設に全力をあげましょう。各支部が会員拡大目標をもって、着実に組織拡大で成果を上げられるよう頑張りましょう。

湘南支部 定期総会開く

湘南支部事務局長 江藤 みさお

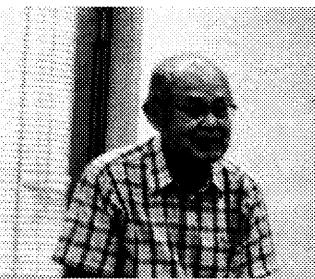
8月8日湘南支部の定期総会を開催しました。

15名の方々が参加していただき、事務局員を入れて、総勢20名での総会になりました。初めて総会に参加してくださった方がいらっしやいます。

新しく事務局員になってくれた方々もすでに事務局員として活動はしていました。この総会でしっかりと採決され確定しました。

今までの湘南支部の活動内容、これからの活動計画も皆さんに報告する事ができました。

今年には野呂栄太郎さんの没後90年なので、湘南に深く関わつ



県本部を代表して、浜本副会長が連帯と激励のあいさつをしました



第31回総会

が出来れば良いと思う。とご意見を頂き、富矢信男顧問からも同調したご意見を頂きました。湘南支部として野呂栄太郎さんを学ぶ為にも、是非イベントが出来ればと考えています。その他にも、映画のお知らせや、9条の会のお知らせなど、各団体の方にお話しして頂きました。

2部は「種まく人びと」を皆さんと鑑賞いたしました。映像にまだまだお元気な増本さんが映し出され、少し胸が熱く

方
た
な
で、
野呂
栄太
郎さ
んに
ちな
んだ
いべ
ント

なりました。

北海道の、菱谷さんのお話しも盛り込まれていて、鑑賞後、菱谷さんは現在103歳になら

れ、この前の国会請願の時、北海道から飛行機で駆けつけてくれたことを皆さんにお伝えする事が出来ました。

今回の総会是他団体でも、精神的に活動されている方々が参加していただき、他団体との交流の大切さを感じました。湘南支部、頑張っているな、と思われるように努力して行きたいと思っています。

「蘇る治安維持法」テーマに 42名参加で学習

県央支部 井上 正男

県央支部は毎月幹事会を開き、情勢討議を重ねてきています。年間の取り組みとして巡回学習会を決めていましたが、7月21日(日)伊勢原市中央公民館で「蘇る治安維持法」をテーマに学習会を42名の参加者で開きました。

戦前の治安維持法の歴史的背景、戦前の治安維持法の法的背景、弾圧の苛烈な実態、戦後の安部政治の戦争する国づくり路線をひた走る特定秘密保護法、戦争立法の数々、自衛隊法の改悪、そして国民監視社会・共謀罪と戦争準備の法整備の流れを詳細に語ってくれました。

当日、講師を岡村共栄弁護士(国賠同盟県副会長)にお願い

し、90分 にわたつて①戦前の治安維持法、②

参加者からは「日本を戦争さ



岡村共栄副会長にわたつて①戦前の治安維持法、②

参加者からは「日本を戦争さ
(3面に続く)

(2面より続く)

せるためにすすめてきた安倍政権、岸田政権のお取り組みをよく理解できた。「国民はだまっけては

いけない。憲法9条を護る取り組みが重要であると感じた」とアンケートに答えてくれました。質疑では、「駅頭などで戦争づくり反対の宣伝を定期的に行っているが、さらに頑張りたい」「自治体の中

【横浜西部支部「ユースよの」 「種まく人びと」を視聴して

野田 良和 (保土谷区)

あの時代、世界でも暴虐な日本の官憲の弾圧に屈せず、絶対主義的天皇制反対・民主権獲得、侵略戦争・植民地支配反対、労働者の権利・生活守れの要求を掲げてたたかった先人の人たちの活動に改めて感動しました。

あの暗黒の専制支配の下でストライキを組織し、組織を拡大していった…本当に学ぶべきことですね。

治安維持法がいかにひどい悪法であったかは、旭川の「生活凶画」事件に対する官憲の非道で教えら

で市民要求を押さえつける動き、共産党に対する攻撃が起こっている」など出されました。

県支部は、今回の学習会成功にむけて5000枚の案内チラシを活用し参加を呼び掛けてきました。参加者の半数が同盟員以外だったので同盟への加入を呼び掛け、ていくことにしています。

れました。共産主義、社会変革の運動と関係がないのに命を落とすほどの弾圧をする。これは、「少しでも天皇制のもとでの政治に批判をしようか。本当にひどいものですね。

「これは昔のことだけではない：今日も」と思い知らされたのは「大川原加工機冤罪事件」です。警察が問題をでっち上げ逮捕拘留し、病気がひどくなっても、ろくな治療もさせず死に追いやった：殺されたと言っても過言ではない

でしょう。「いま、中国と関係を持つとこんなことになるぞ」との見せしめでしょうか。

確かに今日の中国の尖閣問題、南シナ海などの問題は、覇権主義行動として断じて許せないことです。しかし、この中国との交流を敵視し、これを軍事力で対応する等、東アジアの緊張・対決の解決にならないことは明らかです。

戦前の専制支配や植民地支配、侵略戦争を美化する歴史修正主義（これが戦前の平和・民主運動の弾圧を隠へいしている）は、「南京事件はウン」「満州事変、日支事変は中国が起こした」「朝鮮ではいいこともした」等々今日の中

国や韓国での事件の反省を求める運動を「反日の運動」と強調しています。そして、戦前の専制支配に反対し平和、民主運動を弾圧、関東大震災での朝鮮人虐殺も否定、隠へいするのです。

本当にひどいのは、自公政権が一体となつてこうした隠へい、美化した本を教科書として認可し押しつけていることです。こうした取り組みは中国への怒

りを増幅させ、アメリカとともに戦争する体制づくりと軌を一にするものではないでしょうか。

(過去との関係で最近驚いたのは、沖繩戦での牛島中将の『辞世の句』が自衛隊のホームページに掲載されているということが明るみにされたことです。自衛隊中樞が靖国参拝をしていることもつですが、)

それだけに、治安維持法による弾圧を告発し明るみに出す運動、犠牲者救援の取り組みは、戦争づくり体制に反対する運動を強めるものでもあると思います。

とりわけ、今日、戦後80年になろうとする中で、戦前の問題を組織として明るみに告発する取り組みは、治安維持法国家賠償同盟以外にはないのではないのでしょうか。そのために、同盟の取り組みに私も微力ながら支援したいと思えます。

視聴させていただき、ありがとうございました。うございしました。



今年も終戦の日行動に取り組みました

川崎支部 支部長 塩田 儀夫

毎年、終戦の日には国賠同盟川崎支部と日本国民救援会川崎北部支部共催で、8・15宣伝行動をしています。今年も異常な猛暑の中、

12〜13時、JR溝ノ口駅、ベドストリアンデッキで吹き出る汗を物ともせず(?)行き交う人々に訴え掛けました。今回は、たかつ九条の会の方々にも駆けつけて頂き、「戦争する国づくりは許さない!」



JR溝ノ口駅 参加者みんなで記念撮影

と8名の市民リレートークや歌などで訴えました(25名参加、ビラ150枚配布)

「自衛隊は今や軍隊です。集団的自衛権、敵基地攻撃能力、米軍指令下に組み込まれ米国の戦争に加担させようとしている。8月15日は79年間の平和をこれからも続ける決意の日」とマイクで訴えた国民救援会の人。塩田もマイクを握り、台湾有事をあり、沖縄南西諸島にミサイル配備をすすめる自衛隊基地の実状を語りました。

行動終了後、近くのファミレスで「苦勞さん会兼暑気払いを行ない、楽しいひと時を過ごしました。なお、写真に国賠同盟の幟旗がほとんど見えないのは、カメラの前に旗を移動させなかったためです(誰も思い至らなかった、反省!)。それともうひとつ、大きな横断幕は、川崎支部同盟員(看板屋さん)による力作です。

「不戦のちかい」に参加して

湘南支部支部長 渡辺 慈子

8月15日、辻堂駅前で20年目の「ふじさわ不戦のちかい」の宣伝行動に、約100名の方が集まりました。

「不戦のちかい」をしました。広島原爆投下日の宣伝行動、長崎原爆投下日の宣伝行動、夏の3大宣伝行動の一つです。私たちは発送作業の後、先日つくったプラスターを持ち「不戦のちかい」に事務局から3名で参加しました。



辻堂駅前 「藤沢不戦のちかい」

藤沢合唱団、月桃の花歌舞団(沖縄舞踊)などの文化団体も参加しました。

加、高校生平和大使は高校生1万人署名活動アピールをしてくれました。他党も交えとても盛大に行われました。

高校生平和大使の学生さんたちは、100人近くいる前で、しっかりとスピーチをして、署名活動とカンパを集めていました。もつと多くの若い人たちが関心を持ってくれること願っています。

なぜ政府は戦争する国作りを進めているのでしょうか?あんなに惨たらしい犠牲を出した、戦争をなぜまた繰り返そうとするのでしょうか?

唯一の被爆国の日本が核兵器禁止条約に批准も署名もしない、そんな自民党政権、次の選挙では、今度こそ、政権交代して貰いたいです。

【県本部4役会議】

10月2日(水)

午前11時より